



## 立皇嗣の礼

今月八日。今上陛下の弟宮であらされます、秋篠宮文仁親王殿下が、皇位継承順位第一位の皇嗣殿下となった事を内外に宣明する、立皇嗣の礼(りっこうしのれい)が挙行されます。

本来、即位礼正殿の儀が挙行されてから半年後の令和二年四月十九日に執り行われる予定でしたが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受け、延期されていきました。今秋、コロナ禍が少しく抑えられている状況である事から、十月八日に式典委員会が開かれ、会議の結果、今月八日執り行われる運びとなりました。予定としましては、

十一月五日 ・神宮(伊勢の神宮)並び、神武天皇山陵、昭和天皇山陵に勅使発遣の儀

十一月八日 ・神宮に奉幣の儀

・宮中三殿に親告の儀

・昭和天皇山陵に奉幣の儀

・立皇嗣宣明の儀

・皇嗣に壺切御剣親授

・宮中三殿に謁するの儀

・朝見の儀

十二月頃 ・神宮御参拝(予定)

・神武天皇山陵御参拝(予定)

・昭和天皇山陵御参拝(予定)

などの諸行事が執り行われます。

史料上確実な、弟宮が次期皇位継承者に選定されたのは、応安元年(一三六八)前後に、南朝の長慶天皇の弟宮である熙成親王(後の後龜山天皇)が、皇太弟として立てられて以来の事で、実に六五二年ぶりの事です。

弟宮が次期皇位継承者となる場合、歴史的には「皇太弟」という称号が用いられてきました。が、今回、現行憲法との整合性から、立皇嗣や皇嗣殿下という名称が新しく考案され、初めて用いられる語となります。

異例尽くめとなりましたが、当宮御本社の主祭神であります、嵯峨天皇さまも、兄宮であられる平城天皇の御代に、皇太弟になられ、後に平安の世を築かれました。令和からまたその更に先に至るまでも、平安の御代の如く、皇室と日本国民の弥栄を祈念するばかりです。

## 七五三のご案内

当宮では七五三のご祈禱を受付けております。なお、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、本年につきましては、当宮の氏地(東は扇町、西は大深町、南は西天満六丁目、北は茶屋町までの範囲)にお住まいのお子さまに限らせて頂いております。ご予約制となっておりますので、まずは総合受付である、茶屋町の御旅社までお電話か、メールにてご予約下さい。

なお、基本的に七五三のご祈禱は神山町の御本社にて執り行いますが、参列数五名までであれば茶屋町の御旅社でも執り行う事は可能です。

※七五三は数之年(満年齢に一歳足す)で計算します。

・三歳 平成三十年生(戌) 女児(又は男児)

・五歳 平成二十八年生(申) 男児

・七歳 平成二十六年生(午) 女児

ご予約は下記まで ○六一六三七一一五八六

tunashiki@jinja.jp

## 今月の暦

【祭礼】 新嘗祭(廿三日)：日本全体の秋祭 神事のみ

【節気】 立冬(七日)：秋が極まり、いよいよ冬の気配が立つ頃  
小雪(廿二日)：寒い地域では雪が降り始める頃

【雑節】 亥の子(十六日)：旧暦十月初亥の日。無病息災。炬燵の日  
七五三(十五日)：子祝 三歳男女、五歳男子、七歳女子

【大安】 十一月六日、十二日、十六日、廿二日、廿九日

【朔望】 下弦(八日)、朔月(十五日)、上弦(廿二日)、満月(卅日)

【祝日】 文化の日(三日)、勤労感謝の日(廿三日)

【旬】 「野菜」 春菊、ネギ、山芋、牛蒡、ホウレン草  
「果物」 リンゴ、クリ、早生ミカン、キウイ

「魚介類」 秋刀魚、カキ、ホッケ、銀鮭、クエ  
「その他」 きのこと類、菊、山茶花、柊の花、木瓜

### 雑感

今月は立皇嗣の礼が執り行われ、これを納めてようやく御即位関連行事の全てが完了します。コロナ禍はまだまだ油断ありませんが、今回の立皇嗣礼のように遅れてもいい、小さくなってでもいいから、一つ一つ良い事を積み重ねていく事が、とても大切な事のように思います。ですが何よりも体が資本。季節の変わり目、体を大切にしましょう。

## 網敷天神社 SNS 地図サイト

Twitter



Facebook



当宮地図 Google MAP



編著 網敷天神社 補宜(御旅社 神主)

白江 秀 知

